

令和3年度 藤沢市地域防災活動推進大会

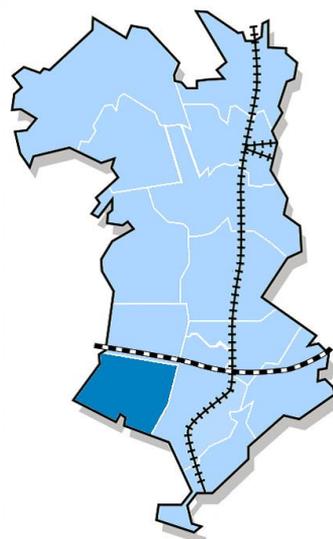
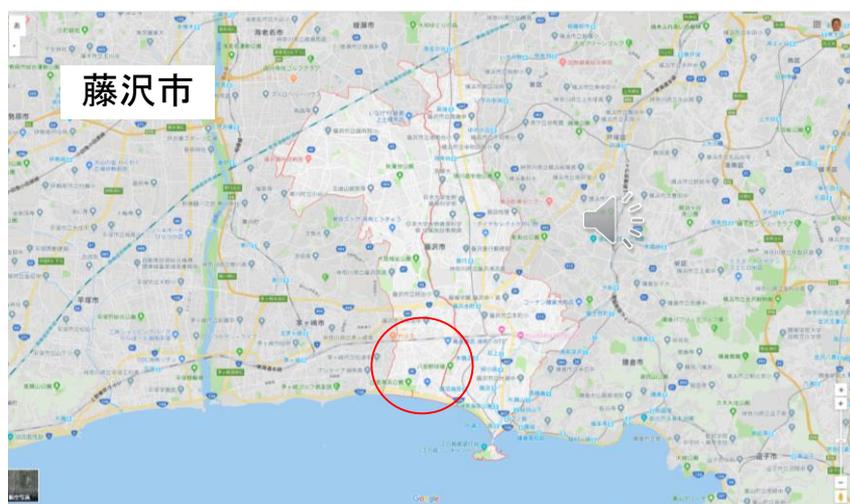
コロナ禍における辻堂地区避難所開設運営 訓練の実施を踏まえた防災の課題について

2022年1月29日

辻堂地区防災協議会会長 小川雄二郎



初めに 辻堂の場所を紹介

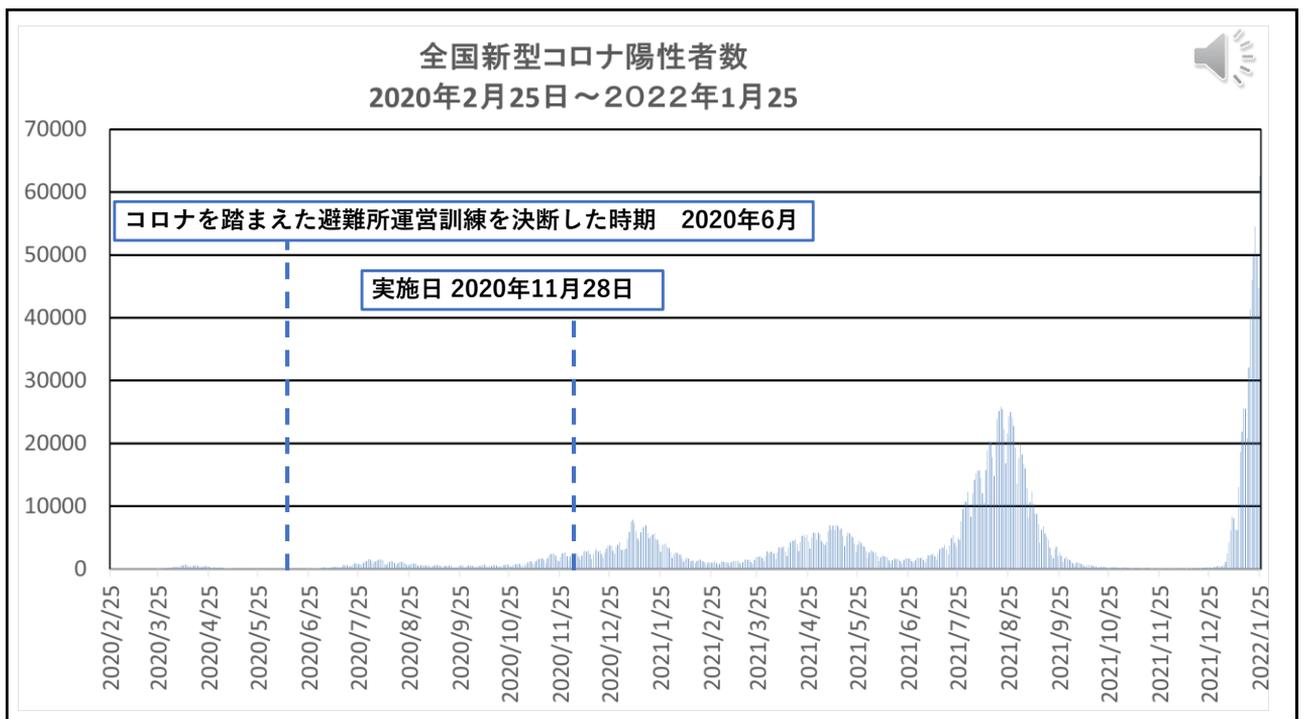


コロナ禍を踏まえた避難施設運営訓練を なぜ実施したか

避難施設運営は施設管理者、市従事職員、**自主防災組
織**

今日、避難施設を運営するとなったら、

避難施設運営委員会は、
コロナを踏まえた避難施設運営の計画、訓練無し
徒手空拳で避難施設運営



トレーニングの目的

1. コロナ禍での避難施設運営で**考慮すべき点**の洗い出し
2. 実際の避難施設（今回は高砂小学校）で運営した時に**発生する問題点**
3. 辻堂地区9か所の避難施設運営委員会に「**コロナを踏まえた避難施設運営マニュアル**」の**策定**

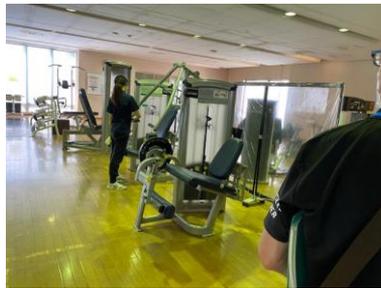


トレーニングの準備

1. 6月～7月（4回）
「**コロナを踏まえた避難施設運営トレーニング**」実施の決定
1. 8月～9月（4回）
訓練の目標、想定、項目、内容、役割の検討、必要な図面等の準備
1. 10月～11月（4回）
訓練の項目と必要資機材の
1. 11月28日
訓練本番



八部スポーツセンターのコロナ対策を見学



トレーニング項目

1. 避難所立ち上げ
2. 感染予防
3. 避難空間の確保と設営
4. 避難者受け入れ、案内、体調不調者への対応
5. 衛生環境の維持
6. 車両避難
7. ペット受け入れ





避難空間の確保と設営 パーティション



避難空間の確保と設営 段ボールベッド



避難者受け入れ



感染予防 PPE着脱指導、手洗い指導



感染予防 相互に着脱訓練



車両避難 避難車両の校庭での受け入れ

課題1 密を避ける とりあえず体育館に避難してもらうのは無理



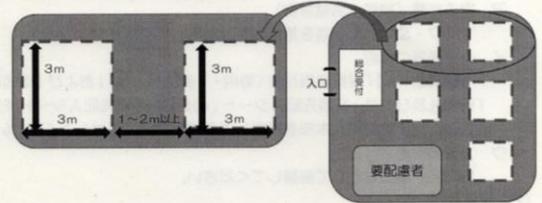
現状の収容人数⇒感染対策時の収容人数

施設	高砂小	現状収容 可能人数	感染症対策時の収容 可能人数	
			コロナ無	仕切り無 通路2m
体育館	640m ²	320		
他4部屋	417m ²	207		
合計	1017m ²	517 (2m ² /人)		

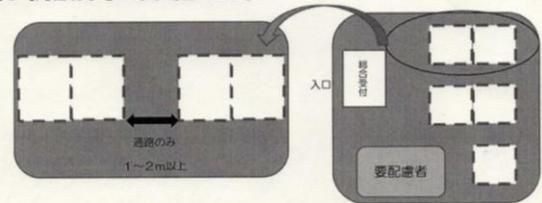
感染対策時には専用スペースを準備
要配慮者スペースも必要
(高齢者・障がい者・妊婦、乳幼児・基礎疾患
等)

↓
他4部屋は一般避難者用には利用できなくなる

別図4【間仕切り等がない場合の区画】



別図5【間仕切り等がある場合の区画】



感染対策時の収容人数の具体例

収容可能人数の制限で、避難者を受け入れられなくなる

施設	面積	収容可能人数		
		コロナ無	仕切り無、通路2m	仕切り有、通路1m
体育館	640m ²	320	58 (25世帯)	106 (46世帯)
他4部屋	417m ²	207	0	0
合計	1017m ²	517 現行の計画人数 2m ² /人	58	106

課題 1 への対応 収容人数が不足

許容収容者数の決定は？

- ・ 収容人数誰が決定？
- ・ 判断の基準が必要？

避難者が許容数を越したら？

- ① 断る
(出来るのか?)
- ② 代替の避難場所へ誘導
(誰が?)
- ③ 校庭を利用した車両避難



課題2 収容人数の減少に合わせた避難施設の配置図作成と専用スペースの確認



- ・ 一般用での更衣室、授乳スペースの配置が難しかった



- ・ 体育館内のレイアウト図の掲示をするとよいが、事前に準備が必要



これだけの資材、どうやって準備？



課題3 一般とコロナ感染者の分離 受付、動線、専用場所、トイレ



課題3 一般とコロナ感染者の分離

振り分け

判別： 体温？、PCR／抗体検査、
ワクチン接種証？

誰が： 誰が振り分け（運営委員？医
者？）

自宅療養者： 高熱者と同室？

受付

手順： 判別してから受付、受け付けてから判
別

混雑： 受付待ちの行列防止

動線： 受付から避難室までの動線の交差

一般とコロナ感染者とのトイレの分離

トイレの確保： 一般とコロナ感染者の
別

断水時の仮設トイレ： 要配慮者の利用可能か

トイレの清掃： 誰が行う？

仮設トイレ： 数の確保

医療機関との協力

防護衣の着脱方法

手の洗い方

体調変化時の入院対応

専門家の駐在の必要性が高い



課題3 感染予防



感染予防PPE着脱指導、手洗指導



感染予防 相互に着脱訓練



課題4 車両避難



車両避難 避難車両の校庭での受入れ

課題4への対応： 校庭を車両避難に使用

校庭を車両避難に使用すると、

40台～50台可能
40世帯（100名前後）

すなわち、収容人数を
2倍に増やすことが可能

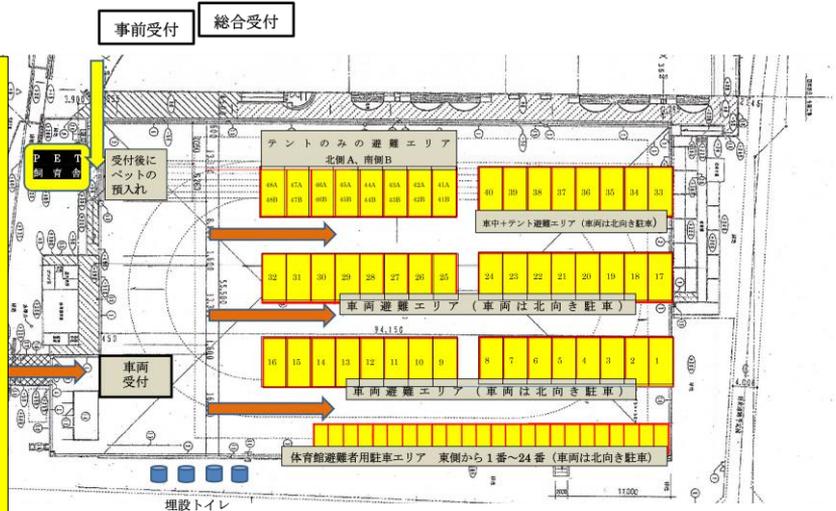


図2 運動場に車両避難させるレイアウト図

課題4 車両避難

車両避難のメリット 避難

- 避難施設の收容能力を増加出来る
- 各自がエネルギー源を持っている
- 家族単位で避難生活
- 従来の避難施設の周辺の公園、一般駐車場等も避難所として一体として利用が可能

車両避難のメリット 感染防止

- 3密をほぼ完全に防げる
- 人の動線の交差を防げる

なぜ車両避難が禁止だったのか

- 避難は徒歩で行われ、自動車は避難者に危険

車両避難に必要な配慮

- トイレ設備
- 飲料水
- 車両避難所の運営ルール
- 車両避難者の利用ルール



明らかになった3つの視点

1. 現在の運営マニュアルでは、**コロナに対応できない**
2. 感染防止の観点から、**地域医療との密接な連携が必要**
3. 收容可能人数の制限で、**避難者を受け入れられなくなる**



第1の視点 コロナ禍を踏まえた 運営マニュアル

1. 新たな対応を求められる事柄が多くあり、対応が求められる。
2. 基本的な対応方針を国や県が示しているようだ。
3. その方針に従って藤沢市では、市としての対応を示す。
4. 各避難施設での施設や構造に基づいた具体的な計画を定めておき、その資機材を用意しておく必要がある。
5. 風水害の避難では市職員で対応するので、市の職員が最初に経験する場合が多い。
6. その経験を持って、避難施設運営委員会ごとに訓練を行う。



藤沢市が示している現状の方針

- 避難施設では感染リスクが高い
- 危険区域外では在宅避難が基本
- まず親戚・知人宅へ避難
- それもない人は避難施設へ

- 方針に変わりがないのであれば、より具体的な話を市民にしてほしい。
- 例えば、災害が起きた時に危険区域外で危ないところはないのか？とか

避難所等における新型コロナウイルス感染症対策について

換気が悪く、人が密集し、近距離での会話などがある環境では感染のリスクが高いとされています。そのため、体育館などの多くの人が集まり、生活を共にする避難所においても、感染のリスクは高いものと考えられます。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況において、避難所を開設するような大規模な地震や風水害などが発生したらどうなるのかを考え、日頃から事前準備を行い、災害時の避難行動を確認しておきましょう。

日ごろから「土砂災害・洪水ハザードマップ」などで、お住まいの地域が、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域であるのかを改めて確認してください。お住まいが危険な区域外の場所にある方で、自宅での安全確保ができる方は、在宅避難を基本とした避難行動をお願いします。

また、お住まいが危険な区域内の場所にある方は、まずは、親戚や知人宅など安全な避難先を探してください。それでも、安全な避難先が確保できない場合は、マスクなどの感染防止対策をして避難所等へ避難してください。

避難所における3つの密（密閉・密集・密接）を避けていただくために、市民の皆様も可能な限りの感染防止対策を行っていただきますようお願いいたします。

「避難」とは「難」を「避」けることです。

安全な場所にいる場合は、避難所に行く必要はありません。



第2の視点 地域医療との密接な連携が必要

1. 手洗い、防護衣の着脱の指導（看護師）
2. 一般、感染者の振り分けに運営委員？（医師が担当又は指導）
3. 発熱時の避難施設内での対応（医師、看護師）
4. 入院等の対応（救急隊員、医師）



第3の視点 人数制限で避難者受入れ不能

1. 避難させない
 1. 避難施設は感染リスクが高い⇒危険区域外は在宅避難⇒まずは親戚、知人宅へ
2. 避難施設を増やす
 1. 新たな避難所新設
3. 収容人数を増やす
 1. 校庭を使った車両避難
 2. 公園やショッピングセンターを使った車両避難
4. 地域の特性を生かした新たな大規模災害防災拠点



藤沢市 風水害時、車両で避難

タウンニュース 2021年12月10日

風水害時、車両で避難

市と2商業施設が協定

社会

藤沢市はこのほど、大規模な風水害時に市民が車両で応急避難できる協定を商業施設の「湘南モールフィル」（辻堂新町）と「ミスターマックス湘南藤沢ショッピングセンター」（同）と締結した。新型コロナウイルスの感染防止に向け分散避難を推進する取り組みの一環。民間商業施設との協定は市内初という。

避難は、避難指示が発令される大型の台風などを想定。市防災インフォメーション



湘南モールフィル立体駐車場

厚木・愛川・清川版

厚木市

民間駐車場を避難場所に

ジャパンニューアルファと協定

小田原・箱根・湯河原・真鶴版

小田原市

民間駐車場を避難場所に

ダイナシティと協定

茅ヶ崎版

災害時、車を「居場所」に

茅ヶ崎養護学校で体験会



厚木市、災害弱者のためにキャンピングカー貸出

2021年12月15日 朝日朝刊

災害時の一時的な避難 キャンピングカー活用

厚木市と製造販売会社協定



キャンピングカーの前でグータッチをする小林常良市長（右）と百田雅人社長＝厚木市役所



地震や風水害などの災害時にキャンピングカーを一時的な避難場所として活用しようと、厚木市は14日、キャンピングカー製造販売会社「ダイレクトカーズ」（本社・津市）と協定を結んだ。

同社は今年7月に厚木店を開き、ショールームなどがある。協定などによると、災害時には同社は市の要請に応じてキャンピングカーを優先的に貸し出す。市は高齢者や障害者、妊産婦、乳幼児、外国人ら、配慮が必要な人たちの避難場

は市が負担する。

協定締結式で小林常良市長は、「家族や気心の知れた人たちで使える。援助を必要とする人たちに積極的に使いたい」。百田雅人社長は「東日本大震災の時、被災地で弊社のキャンピングカーが役立つことが原点。動く避難所として活躍してくれる」と述べた。

（豊平森）

がんセミナー

日本対がん協会
03-6441-4277

日本対がん協会「終活セミナー」参加者募集
日本対がん協会は1月28日（金）

綾瀬市、車中泊のためのトイレを市民文化センターに用意

2021年11月11日 朝日朝刊

湘南

横浜総局
5231 2504
横浜市中区日本大通15
☎ 045-581-6101
fax 045-541-9695
mail kanzagyo@asahi.com

湘南支局
〒251-0253
綾瀬市藤沢275-10
☎ 0456-26-4911
fax 0456-26-4912
編集 ☎ 0457-22-0123
小伝 ☎ 0455-33-3622
字庫 ☎ 0453-25-3246
厚木 ☎ 046-221-3303
川崎 ☎ 044-244-4306

完成した防災トイレ・マンホールトイレ(平例)を設けた市緑報市

綾瀬市 断水・停電にも対応

災害時車中泊備え 防災トイレを整備

綾瀬市は、災害時の車中泊の受け入れ施設として、市民文化センターの敷地内に防災トイレを整備した。24時間利用できる常設のトイレのほかに、災害時に使用するマンホールトイレを設けた。市は車中避難を有効な避難手段として位置付けており、受け入れ態勢の整備を進めている。

防災トイレは、市中心部にあるセンターの第一駐車場(1700台)に、10月下旬に完成した。平例建ての建物内には男女を重畳利用などの多目的の計8基を設置。断水や停電の時も使えるマンホールトイレは、男女を重畳利用の計10基を用意した。災害時には

寒川版 掲載号：2021年9月24日号

【近隣防災トピック】綾瀬市
車中泊対応の防災トイレ整備

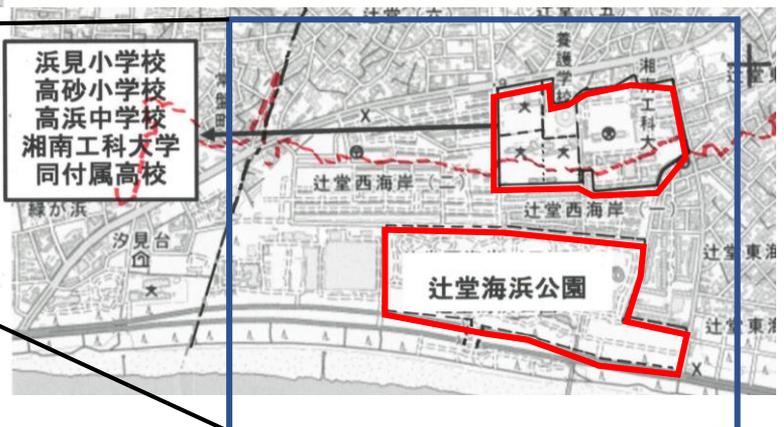
密を防ぐ車中泊避難寒川でも

綾瀬市が深谷中の市民文化センター駐車場を整備を進めている防災トイレが完成間近となった。災害時の車中泊避難への備えと、32か所の避難所の密対策が目的。男性用と女性用のトイレのほか障がい者用の多機能トイレを設ける建屋と、災害時にふたを外して便器と団いを取り付けて、排泄物を下水道管に直接流す「マンホールトイレ」を10基、屋外の地面に設置する。市危機管理課は「車中泊対策としてエコノミークラス症候群を防ぐストッキングや簡易トイレなど物資の備蓄も進めている」と話している。

整備が進む防災トイレとマンホールトイレ＝綾瀬市民文化センター

避難施設集積型災害対応拠点構想

5つの避難施設が一か所に集積している。
そこへの避難者は辻堂全体の65%



そのすぐ南には辻堂海浜公園があり、広大な駐車場がある。

避難施設集積型災害対応拠点

- これを仮に「辻堂大規模災害防災拠点」
- ここには**小学校、中学校、高校、大学の5つの指定避難施設**
- 西端には「辻堂市民センター」、南には「辻堂海浜公園」、
- 中には「白浜養護学校」がある。
- これらはすべて**500m×500m以内**にある。
- この範囲を防災拠点としてとらえると、5つの避難所を独立に運営する無駄を防ぎ、各施設を合同で有効的に使える。
- 駅前の高層マンションの屋上にカメラを設置、**状況判断が容易**
- 県外からの**広域応援受入れ拠点**として適地
- 藤沢市の津波災害をカバーでき、**藤沢市現地災害対策本部**となる。



ご清聴ありがとうございました

